幼児の笑顔のために

幼児教育支援センターだより

令和　5年　2月　8日 №. 28
流山市教育委員会指導課
幼児教育支援センター発行
TEL　7154－8081

　過日の節分では、親子で年の数だけ「豆」を食べたでしょうか。邪気を払い無病息災を願う“節分”とは、文字通り季節を分ける日であり、「春の兆しが見え始める季節」とも言われ、心が弾みますね。寒い中にも木々の芽吹きがあるように、子ども達の姿にも様々な成長が感じられる頃だと思います。
　これまで苦手としていたころにも挑戦してみたり、また物事への興味や関心が深まったりと、「小さな一歩」を踏みだす季節です。そんな時に、「親からの誉め言葉」は大きな励ましとなります。完璧な姿を求めず頑張っている姿を認め励ましてあげてほしいと思います。

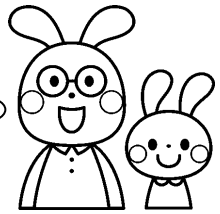
《魔法の誉め言葉》＊＊＊“さ行”の頭文字を使う５つの言葉＊＊＊

「すご～い」
「〇〇ちゃん、〇〇が出来るようになったね」

「すてき」＆　拍手
「〇〇ちゃん、すてきな考えね!!」

「さすが!!　〇〇がよくできたね」
「さすが、〇〇ちゃん」

「すばらしい!!」
「〇〇が素晴らしい!!」



「それでいい！」
「それそれ、それでいい」
「それ、いいね！」

植草短期大学教授　佐藤信二先生著から抜粋

絵本の読み聞かせ

絵本は心の栄養です。親子の絆を深めるためにも就寝時にひとり一冊ずつ読み、寝る前のルーティンに組み込み、心地良い中で眠りに入る習慣にしましょう！！

♡家庭で過ごすひと時に、子どもと一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりしたりすると、下記のように良いことがたくさん得られます!

★安心感と居心地の良さから、興味・関心を広げ知らなかった世界を楽しめる。
★親子の心が通じ合い、さみしさを解消することができる。
★読み聞かせは、「聞く力」を育てる。
★考える力を育み、創造性が豊かになる。
★自己肯定感が高まる。

♡お母さま、お父さまの声を聴かせるチャンスです。AI には出来ない人の温もりを感じさせることで、幼児期に大切な「人格形成」を育てると共に、親子の絆を育みましょう

『子どもの読書活動啓発リーフレット』（千葉県）などを参考にし、子どもと一緒に本を選んで、親子で楽しめるようお勧めします。

幼児期の学びと育ちが小学校での学びにつながっています。

幼児期の子どもたちは、幼稚園・保育所（園）・認定こども園などで「遊び」や「生活」を通してたくさんのことを学んでいます。

「遊びは学び」　遊びを通して、小学校以降につながる様々な力が育まれています。

＜例＞ ★しりとり・なぞなぞ・かるた遊びなど言葉遊びをたくさん経験する。語彙を増やします。

★パズル・ブロック・積み木遊び・トランプ・すごろく・迷路などをたくさん楽しむ。

数量や図形などへの関心が高くなります。　楽しいな～。もっとやりたいな。

★手先を使った遊びをたくさん経験する。

「折りがみ」「あやとり」「お絵かき」「粘土遊び」「ひも結び」「箸で豆をつまむ」など

＊手先を器用に使うことは、脳を育てることにつながります。この時期の手先の器用さは、経験の数にも関連しています。手先を使う経験をたくさんしておくといいです

小学校入学前の１年間の過ごし方

＊生活のリズムをつくりましょう。

起きる時刻、寝る時刻を決めてリズムを整えましょう。また、朝ごはんは少しでも食べる習慣をつけましょう。

＊あいさつや返事ができるようにしましょう。

コミュニケーションの第一歩です。あいさつは、いろいろな気持ちを届けます。

＊身の回りのことは、自分でできるようにしましょう。

幼稚園や保育園に持っていくものは、自分でカバンに出し入れしましょう。通園カバンも自分で持ちましょう。また、自分で着替える、脱いだ服をたたむ、靴を揃えるなど基本的なことができるようにしておきましょう。

＊外での遊びをたくさん経験しましょう。

天気の良い日は、公園などで親子一緒に遊んだり、見守ったりして楽しみましょう。外遊びをすると、脳も心も体も成長します。また、体を巧みに動かし敏速に行動できるようになると危険を回避する能力も育っていきます。

公園には、園では見られない遊具や動植物があり、子ども達に経験してほしい出会いがたくさんあります。遊ぶ中で子ども達は、「体を動かすって楽しいな。」「これ何だろう？」「不思議だな。」「もっと知りたいな。」など好奇心や探求心なども育まれていきます。

できたことは、大いにほめてあげましょう。やる気がアップします。うまくできない時は、そっと見守ることも必要です。時には一緒にやってあげることも大事ですね。

電話相談・来所相談（要予約）を行っています。

【幼児教育相談】

TEL　04－7154－8781　月・火・木

9時から14時